

# 令和2年度 事業計画

## 基本方針

令和2年度の幕開けは、2月に発生した新型コロナウイルスの問題があり、国内外において人の移動を制限する感染症対策がとられており、7月に開催が予定されていた東京オリンピック・パラリンピックも次年度に延期が決定するなど、観光面だけでなく国内産業全体が大きな影響を受けており、先行きが見通せない状況となっております。

県全体の観光状況については、東北絆まつりの開催や、6月のさくらんぼシーズン、10月には新潟県・山形県庄内エリア デスティネーションキャンペーンのアフターDCが予定されており、国内旅行客の動向が好転することが望まれます。

高島町では、昨年第6次総合計画が策定され、町内への年間観光客数130万人目標や、地域資源の磨き上げや発掘、町を訪れることが目的となる観光の生み出し、町の公式ホームページやSNS等で効果的な情報発信等にて国内外からの誘客を図るとしてまいります。

また、昨年国土交通省が東北中央自動車道の高島スマートインターチェンジを準備段階調査に選択したことで、高島町の観光にも大きな影響力があるものと思われ、早期の実現が望まれます。

今年度の観光イベントは、9月の「グル麺ライド」や、10月に隔年で実施されます「クラシックカーレビュー in 高島」が予定され、町内外から多くの誘客に繋がり、多くの恩恵があるものと思われるため、各団体と協力体制を密にして成功裡になるよう取り組んでまいります。

観光協会の事業としては、春の「まほろばの緑道安全祈願祭」を皮切りに、昨年初めて5月に実施した「ぼたんまつり」・春秋「太陽館まつり」冬の「冬咲きぼたんまつり」等、施設ごとに四季に合わせた誘客事業を行ってまいります。

食の観光事業については、高島町の特色でもある「まほろばの里たかはた」ならでの歴史と豊かな自然から生み出される穀物や果物などを活用し、観光情報の発信や観光プログラム開発に引き続き努めてまいります。

町の観光施設管理においては、指定管理業務委託を受託しているコミュニティ施設「高島町太陽館」と「道の駅たかはた」、委託施設の上和田有機農業の地に在する「ゆうきの里さんさん」を観光の拠点施設と位置づけ、魅力ある施設づくりにも努めて行きます。

各施設とも築年数を経過し、全体として設備の老朽化が顕著になってきております。計画的な修繕を町に依頼しながら、施設の日常の管理を徹底し維持管理修繕に努め、各施設とも利用される方が皆さん気持ちよく利用できる「おもてなしの」体制を大切にし、利用者に満足していただける施設づくりに努めてまいります。

## 1. 令和2年度重点事業

### (1) 『住んでよし、訪れてよし』の町づくりの推進

高島の地域資源を活かした、高島ならではの魅力づくりを目指し、町民の誇りと来訪者の親しみが融合した町づくりを促して行きます。

また、美しいふるさと高島町づくりを一層進めるため、「たかはた風景街道」と題した事業を新たに立ち上げ、町内各地域における観光地整備事業を実施するとともに、来訪者に感動を与え、画像として拡散したくなるビューポイントの整備と情報提供、「町民のおもてなしの心」の醸成ならびに観光客受入態勢のレベルアップを目指して行きます。

## (2) 東北中央自動車道開通を活かした受入体制の推進

昨年開通した東北中央自動車道（南陽高島IC—山形上山IC）を観光の起爆剤とし、高島町への観光が、高速道路を利用することにより身近で親しみがあがり、魅力ある観光地となるよう観光資源の醸成と広報宣伝をして行きます。

## (3) JRホテル・フォルクローロ高島と連携した誘客活動の推進

JRホテル・フォルクローロ高島と連携し、県外客への情報発信を進めるとともに高島町への誘客を図り滞在型観光の誘客を目指します。

## (4) 犬猫安らぎの郷構想プロジェクトの推進

近年の世界的なペットブームによりペットと人間が共生できる町づくりが求められてきている中、全国的にも珍しい「犬の宮」「猫の宮」、直木賞受賞作品「高安犬物語」そして絶滅した高安犬発祥の地など数多くのペット素材が存在する高島町において、この貴重な資源を活用し観光発展、地域活性化を実現させるため推進してきた「犬猫安らぎの郷構想」については、持続可能な事業内容を模索しながら事業を進め実現化を目指します。

## (5) サイクルツーリズムの推進

ツール・ド・みちのくおとぎ街道「グル麺ライド」、「駅からサイクリング」等のイベントや、まほろばの緑道を起点とし、自転車で町内を散策されるサイクリング愛好者の需要に対応し、サイクリングラック設置をはじめとする受入態勢の整備等を実施し、「サイクリングの町たかはた」を確立すべくサイクリングツーリズムを推進して行きます。

## (6) まほろば冬咲きぼたんまつりを契機とした花見イベント事業の推進

まほろば冬咲きぼたんまつりの牡丹、たかはた冬らんまんまつりの啓翁桜など、冬のお花見イベントが注目され、SNSによる画像投稿への反響が年々増加してきているため、さらに誘客につながり魅力ある事業になるよう実行委員会とも連携し事業を進めて行きます。

また、まほろば冬咲きぼたんまつりで使用した牡丹を植栽した牡丹園が充実し、誘客に活用できる施設となってきたため、春のぼたん園を活用した誘客活動を進めます。

## (7) グリーンツーリズム、観光農業（体験農業等）、教育旅行受入体制の確立

高島町教育旅行受入協議会を設立し、県教育旅行誘致委員会と連携しながら、農業体験や食に関する知識、人や家族、地域とのふれあい体験を町の強みとしながら、千葉県八千代市立大和田中学校をはじめとする体験学習旅行や小中高生教育旅行の誘致活動を展開し、町全体での教育旅行受入体制の確立を目指します。

## (8) 特色ある着地型旅行企画の開発およびインバウンド事業の推進

特色ある着地型体験観光メニューの開発に併せ、外国人旅行者に対する誘客宣伝を活発にし、

国内個人旅行はもとより、団体旅行、そしてインバウンド旅行客の増加を目指し、交流人口の増加による地域の産業経済の活性化に努めます。

## (9) 観光キャンペーン活動の推進による、魅力ある観光情報発信の強化

JR仙台駅たかはたフェアをはじめとする観光キャンペーン事業を積極的に開催・共催し、高島町の観光資源や食べ物、そして“たかはたブランド”商品をはじめとする物産等の魅力を全国に発信します。

## 2. 継続的な取り組み

### (1) 「高島らしい」魅力ある受け入れ体制の整備

- ①全町民「観光ガイド」運動の啓蒙推進
- ②広介童話の心を柱とした受入態勢の整備
- ③『まほろばの里』らしい食文化発展事業の推進と、たかはたブランド推進への協力
- ④文化財資源の保護と伝統行事の伝承と育成
- ⑤観光地の環境整備運動と観光案内看板等の整備促進、「まほろばの里」らしい自然の保全

### (2) 誘客宣伝活動

- ①旅行エージェント訪問、各種誘客イベントへの参加による誘客活動の実施  
各団体、観光業者と連携し、首都圏、仙台、新潟エリアからの誘客を促進するとともに、街なか歩き、農作物植え付け並びに刈り採り体験等構築済の企画に併せ、高島オリジナルの企画商品造成に向けて、観光素材の発掘を進めます。
- ②仙台市、首都圏、そして高島町と友好交流都市である横浜市栄区での観光誘客宣伝と物産販売のタイアップキャンペーンを関係団体と連携し実施します。
- ③平成28年度より、国の有形登録文化財に指定された旧高島駅舎をはじめとする文化遺産の活用や整備促進の検討並びにまほろばの緑道・まほろば古の里歴史公園等の名所旧跡における観光の活性化に向けた事業を行います。
- ④総合観光インフォメーション機能づくりとインターネットを活用した情報発信事業  
公式ホームページに併せ、Facebook、Twitter、InstagramなどのSNSを積極的に活用し、高島町の旬な情報の発信を推進します。  
また、ニーズの多い観光情報（トイレ、駐車場、観光地、飲食、買物、イベント、無料Wi-Fi）を提供できる総合観光インフォメーション機能を構築し、観光客の利便性を図ります。
- ⑤観光コンベンション事業の強化  
従来の観光客だけではなく、会議やセミナー・講座等の来訪者を受け入れるコンベンション事業を、農業や商工業等の他産業と連携しながら総合的に強化推進します。
- ⑥フィルムコミッション事業の強化  
フィルムコミッション事業を実践しロケ地誘致活動を推し進めるとともに、すでに映像化された町内ロケ地情報を発信し、ロケ地巡り等の誘客につなげます。

### (3) 広域観光

- ①国道113号線観光推進協議会と連携した、おとぎ街道事業、伊達家ゆかりの地関連地域との広域観光事業を推進します。

- ②やまがた花回廊キャンペーン、冬のあった回廊事業実施における各種誘客活動を実践します。
- ③伊達家・織田家ゆかりの町としての戦国観光を推進し、伊達政宗にちなんだ事業を通しながら高島町内への誘客拡大、歴史文化の交流拡大を推進するとともに、地域特性を活かした広域提携商品づくりをします。

#### (4) 各種団体との連携

- ①(公社)山形県観光物産協会・やまがた観光キャンペーン推進協議会・国道113号観光推進協議会・県南観光推進協議会・山形おきたま観光協議会・高島町物産協議会等関係団体等との連携
- ②高島町総合観光推進協議会事業との連携
- ③浜田広介記念館・まほろば古の里歴史公園施設等、町内文化関係施設との連携強化
- ④「まほろばの里案内人」(観光ガイド)の充実と案内活動の実践
- ⑤たかはた農山村体験交流ネットワーク(教育旅行の受入)との連携
- ⑥JR各種事業への連携と協力

#### (5) 組織の強化と会員拡大

- ①事業拡大に伴う協会組織拡充の検討
- ②「感謝のつどい」の実施
- ③観光協会だよりの充実
- ④新会員拡大運動の展開

#### (6) 委員会活動

観光事業の総合的・普遍的運営とその責任方式を確立し、当協会の事業目的達成と円滑な推進を期すため委員会を設置し、協会事業の活性化を図ります。

##### 総務委員会

- ①会員拡大事業
  - 〇観光協会事業の啓発を継続実施し、理解のもと協力をいただける会員の拡大を図ります。
- ②感謝のつどいの開催
  - 〇会員各位への感謝と協会組織強化のため感謝のつどいを開催します。
- ③観光協会だよりの発行
  - 〇事業の周知や情報発信のため観光協会だよりを発行します。
- ④理事研修の実施
  - 〇観光協会組織強化のため理事研修を実施します。

##### 観光振興委員会

- ①経済効果を図るために宿泊を伴う体験型、滞在型観光事業の模索
- ②観光資源を活かした観光振興地域活性化事業
  - 〇高島町と協力し観光資源の情報発信を行います。
  - 〇たかはた風景街道事業を実施します。
- ③史遺跡、地域の地元組織と連携を図った美化活動
- ④町内観光資源の付加価値を模索した永続的な誘客につながる仕組み作り
- ⑤その他
  - 〇まほろば冬咲きぼたんまつりにおける企画等を行います。
  - 〇観光振興事業への、観光協会会員の参画を仰ぐ仕組み作りを行います。

## 施設管理委員会

### ①高島町太陽館について

- 施設の老朽化に伴う危険箇所や修繕の必要箇所等随時施設の確認を続けます。
- 太陽館売店の販売促進を図ります。
- 休憩室の利用活性化を検討します。
- 高島町のコミュニティ施設としての魅力あるイベントを行います。

### ②道の駅たかはたについて

- 施設の老朽化に伴う危険箇所や修繕の必要箇所等随時確認を続けます。
- 環境を活かした道の駅づくりを目指します。
- 羽山⇄安久津の遊歩道について町との連携を図ります。

### ③ゆうきの里さんさんについて

- 農村地域環境を活かした施設づくりを目指します。
- 地域と連携した農業・農産物加工体験の充実を図ります。
- 施設の老朽化に伴う危険箇所や修繕の必要性など随時確認を続けます。
- 観光と連動した宿泊プランの創出を行います。

## (7) 観光イベント事業

- |                            |           |
|----------------------------|-----------|
| ①第33回全国ペット供養祭              | 7月25日     |
| ②昭和ほろ酔いちょうちんまつり            | 8月7日(予定)  |
| ③第20回まほろば冬咲きぼたんまつり         | 2月11日～14日 |
| ④共催、協賛事業                   |           |
| ・ 駅からハイキング                 | 4月～5月     |
| ・ 第55回たかはた夏まつり(青竹ちょうちんまつり) | 8月15日～16日 |
| ・ まほろばの里たかはた「JR仙台駅物産展」     | 9月上旬(予定)  |
| ・ グル麺ライド                   | 9月下旬(予定)  |
| ・ 第37回たかはた冬まつり             | 1月～2月     |

## 3. 指定管理並びに管理受託施設事業計画

### (1) 高島町太陽館

#### ①温泉部門

- 随時施設の確認・管理を続けます。特に、老朽化による危険箇所・修繕箇所に注意を払いお客様がより利用しやすい施設とします。
- 高島町のコミュニティ施設として休憩室利用を含めた、魅力あるイベントを実施するとともに、地域、関係団体との連携による活気ある「駅」づくりを目指します。

- ・ 風呂の日の実施(毎月26日)
- ・ 入浴ポイントカード事業の継続
- ・ 年間イベントの実施、チラシ作成等によるイベントのPR  
8月7日(予定) 夏の夜まつり(ビアガーデン)・昭和ほろ酔いちょうちんまつり

10月10日～11日	秋のふるさとまつり “太陽館まつり”
1月 1日～ 3日	お正月イベント
2月11日～14日	まほろば冬咲きぼたんまつり

## ②売店部門

- 〇 高島町のお土産品の情報発信施設としての充実を図ります。
- 〇 駅乗降客のニーズに応えられる商品構成の充実を図ります。
- 〇 夏冬ギフト「美味玉手箱」の充実に伴せ、通年販売できるギフト販売を企画し実施します。
- 〇 活気ある売店づくりのため、農産物納入品等による月1回のお得市を行います。

## ③食堂部門

- 〇 食堂経営者（株式会社りんご苑・ホテル フォルクローロ高島・(一社)高島町観光協会）が一体となった経営努力をします。

## ④駅利用者、付帯施設利用者の拡大事業

- 〇 駅の利用拡大につながる魅力ある「まほろば町民号」を実施します。
- 〇 イベントステージの屋根設置に伴うコンサートやイベントを開催します。
- 〇 テニスコートやゲートボール場の利用者拡大対策と老朽施設の再点検を行います。
- 〇 ぼたん園の管理を進めながら、春ぼたんの開花に合わせた誘客活動を強化します。

## (2) 道の駅たかはた

(高島町総合観光案内施設・高島ふるさと自然のみちウォーキングセンター)

### ①道の駅たかはた部門

- 〇 山形県で推進している道の駅2020ビジョンの拡充と道の駅としての機能の充実を図ります。
  - ・緊急時受入体制の強化
  - ・道の駅たかはたに関係する各団体との運営委員会を実施し難局に対処していきます。
  - ・山形県駅長会、置賜地区駅長会と連携強化を図り周遊観光を推進し誘客に努めます。
  - ・高島町内各種団体と協調し誘客、広域告知に努めます。
  - ・四季を通じ状況に即した営業時間の設定
- 〇 売店・食堂部門の売上の増加を図ります。
  - ・よねおりかんこうセンターとの連携強化
  - ・山形県道の駅駅長会事業「山形県道の駅専用商品第2弾」の推進
  - ・道の駅関連団体の農産市に積極的に参加し、町内産物の販売・PRを実施していきます。
  - ・農産物直売会「まほろば大地の会」との協力態勢の強化
  - ・地産地消を推進し飲食メニューの拡充
- 〇 まほろば大地の会と連携した年間イベントを実施します。

6月中旬	さくらんぼフェア
8月14日～16日	おかえりなさいふるさとフェア

9月連休時  
10月10日～11日

高島町グリーン・ツーリズムネットワーク共同農産市  
秋の収穫祭

## ②高島町総合観光案内施設部門

- 〇道の駅各部門担当者の意識を更に高め誘客誘導の推進を図ります。
- 〇窓口での対面観光案内の充実を図ると共にインターネット等による情報発信を行います。
- 〇町内店舗への顧客の流入を促進します。
- 〇高島町の総合観光案内施設として魅力あるイベントを実施します。
  - 1月 1日 ～ 1月 3日 お正月「初詣ふるまい」
  - 4月29日 ～ 5月10日 道の駅おもちゃまつり
  - 7月～10月 体験教室の実施
- 〇年間を通し、町民の多岐にわたる優れた作品の展示会を開催します。

## ③高島町ふるさと自然のみちウォーキングセンター部門

- 〇町内各種団体との連携により町民ウォーキングの普及を図ります。
- 〇周囲景観を生かした独自のウォーキングコースの利用を促進します。
- 〇町外のウォーキング愛好者へ向けてコース案内を推進し利用促進と有効活用を図ります。

## (3) ゆうきの里さんさん

### (和田民俗資料館、高島町交流促進施設及び高島町農産物加工体験交流施設)

平成27年度より管理運營業務を受託した「ゆうきの里さんさん」関連施設を滞在型観光の拠点に位置づけ、グリーンツーリズムや滞在型観光の確立に向けて各種事業を展開します。

#### ①高島町交流促進施設

- 〇ログハウス風コテージ3棟（標準型2棟、バリアフリー型1棟）を有効に活用し、高島町滞在観光の拠点施設となるよう、町外・県外に向けたPR活動を行います。また、施設の維持管理修繕に努め、建物・サービス共に利用者の満足度の高い施設にして行きます。

#### ②高島町和田民俗資料館

- 〇伝統家屋を改修した研修・集会施設「楽集館」をグリーンツーリズムならびに観光農業（体験農業等）の拠点として活用していくと共に、催事・団らの場としての活用についてもPRして行きます。

#### ③高島町農産物加工体験交流施設

- 〇地場農産物を活用し、そば打ち、味噌づくりなど地域特産の農産物加工体験を行い、高島町のグリーンツーリズムをPR・推進して行きます。

#### ④施設周知、利用者増加のためのイベントの実施

- 〇10月24日 ゆうきの里さんさんまつりを実施します。